

デーリー東北

2025年(令和7年)8月14日(木曜日) (10)

多彩な実験 科学楽しむ

親子サイエンス教室、14組参加

久慈

親子を対象としたサイエンス教室が8日、久慈市の岩手村田製作所久慈工場で行われた。参加した14組が電気機器を生産する同工場内を見学するとともに、理工系の女子学

岩手村田製作所久慈工場の担当者(右)から人工水晶について説明を聞く参加者



生らを講師に、多彩な実験を通じて科学の世界に親しんだ。

理工系への興味、関心を高め、ものづくり産業への進路選択につなげてもらおうと、昨年度からスタートした岩手県の事業で、久慈市では初開

催。教室の講師には八戸高専ろぼと娘、八戸工大ガールズアクティブロボ、岩手大工学ガールズの学生が招かれた。

参加した親子は、まず工場従業員から企業概要などの説明を受け、自動車やスマホ、ゲーム機などに欠かせない人工水晶を使った部品の生産工程を見学した。

サイエンス教室では、小さいロボットを使ったゲームや、折って橋渡しした1枚の紙の上にどんどんコインを乗せ、折り方による強度の違いを確認する実験に挑戦。二酸化炭素と試薬入りの液体を入れたペットボトルを振ると、二酸化炭素が液体に溶けて色が変わり、ペットボトルもへこむ実験なども行い、子どもたちは実験の結果に目を輝かせていた。

参加した市立久慈小2年の山田琉ノ介さんは「紙にコインを乗せる実験が楽しかった。81枚も乗せられた」と笑顔を見せていた。(澤田淳二)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。